

防コミの歩き方



手書きイラストによる『風情ある防災マップ』まもなく完成

今年度、北区の有馬町防災福祉コミュニティでは、地域住民だけでなく有馬温泉を訪れる多くの観光客も利用できる防災マップを製作しています。

温泉街として知られる有馬町を詳しく分けると、13の町に分かれます。この中から3つの町を選び災害時に必要な地域の防災情報をわかりやすく示した防災マップを製作しています。

有馬町では、2010年に市販の防災地図に消火器やAEDの設置場所を示したA1判の地図を作り地域内の全住居に配布しましたが、あまりにも広域すぎてわかりづらくあまり活用されていませんでした。

そこで、今回は地元出身のイラストレーター丸山 権三郎氏に製作を依頼し、町内のすみずみまで歩いてもらい災害時に必要な地域の防災情報を示した有馬町独自の『風情ある防災マップ』を製作しています。

防災マップは、消火器、消火栓、AEDや一時避難所、指定避難所などを子どもや高齢者にもわかりやすく親しみやすいように手書きイラストにしました。また、消火器やAEDなど設置場所の増設や移設が発生した場合、速やかに対応できるようにこれらの情報は、貼り付けシール方式とし、大きさもA3判にしました。

できあがっ



た防災マップは、地域内住戸に配布するとともに、有馬温泉を訪れる多くの観光客も広く利用できるよう、町内に設置してある掲示板や多くの人が行き交う建物の外壁などに掲示する予定です。

防災マップの製作には、有馬町防災福祉コミュニティ会長や役員をはじめ、今回製作する3つの町の代表者が集まり、計5日間にわたる熱心な議論を重ねました。



ちなみに今回製作する町は、^{ひょうたんちょう い}瓢箪町・伊^{なのおちよ たきもとちよ}奈野町・滝本町を予定しています。

昨年度、兵庫県の助成事業を活用し寺田町、中之町、潮原町の3つの町の防災マップを既に完成させています。

皆さんも、有馬温泉街を訪れたときは、ぜひ、手書きイラストによる『風情ある防災マップ』に注目してください。

(北消防署 地域防災調整者 藤岡昭浩)



昨年度、完成した寺田町防災マップ